

子宮頸がん検診について

子宮頸がんは、子宮頸部（膣に近い部分）にできるがんで、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連しています。HPVは性交渉により感染するウイルスで、性交経験がある女性なら、誰でも感染する可能性があります。HPVに感染すると、子宮頸がんへ移行する場合があります。

また 30～40 歳代の女性に多く、近年では 20 歳代の女性にも急増しているため、1～2 年に 1 回の検診をおすすめいたします。

※子宮頸がん検診は無料クーポン券対象項目です。詳しくは「がん検診無料クーポン券について」をご覧ください。

対象者

20 歳以上の女性市民の方(今年度中に 20 歳になられる方を含む)で、お勤め先等で乳がん検診を受ける機会がない方

注意事項

- ※妊娠中、月経中の方は受診できません。
- ※子宮疾患の治療中・経過観察中の方は対象となりません。（疾病の早期発見のための検診です。）
- ※性交渉の経験が無い方は子宮頸がんにかかるリスクが低いいため、受診をおすすめしておりません。
- ※会社等の検診・被扶養者検診で同等の検診を受ける機会がある方は対象外です。会社等の検診を受診してください。
- ※子宮疾患の既往歴がある方、以前精密検査と診断された方は個別検診をお勧めしております。集団検診では、前回の検診結果を考慮した判定ではありません。そのため、既往歴がある方、以前精密検査となった方は同症状で精密検査となる可能性があります。

実施期間

集団検診：日時指定で行われます。詳しくは「令和4年度がん検診のご案内」をご覧ください。

個別検診：6月～2月

健診センター：6月～12月

受診回数

集団、個別、健診センターのいずれかの検診を1年度（4月～翌年3月）に1回。

検診内容

問診、子宮頸部細胞診。

検診料(自己負担金)

集団検診：500円

個別検診：1200円

子宮頸がん検診無料クーポン券持参の方：無料（詳しくは「がん検診無料クーポン券について」をご覧ください。）

※検診の結果、精密検査が必要となった場合、検査費・治療費等は別途費用が発生しますので、ご了承ください。

※がん検診の検診料(自己負担金)が免除される制度があります。
詳しくは「自己負担金免除制度について」をご覧ください。